

広報

# ただみ

5  
2023 月号  
No. 636  
令和5年5月10日



## 今月の表紙

### 【只見高校入学式】

新年度が始まり、町内小中高校では入学式が行われました。只見高校の入学式では、伊藤校長が新入生に「高校生活の3年間は、様々なことに挑戦してください」とお祝いの言葉を贈りました。

(関連記事：P 2～3)

### 《特集》

- 町内小中高校 入学式 …………… 2～3
- 雪まつり フォトコンテスト・  
ミニ雪像コンテスト入賞作品紹介 … 4～5
- 《News&flash》 …………… 6
- 《町の話》 …………… 7～9



# ご入学おめでとうございます

今年度も小・中・高等学校で入学式が行われ、町内全体で62人の児童・生徒が新たに学校生活をスタートさせました。

新生活に不安も多いかと思いますが、各学校で過ごす時間は、入学生の皆さんにとってかけがえない財産になることでしょう。

★今年度入学された各学校の皆さんを写真で紹介します。



▲保護者や上級生に見守られる中、堂々と入場しました（只見中学校）

## 只見 小学校

新入児童 2人

全校児童 38人



## 朝日 小学校

新入児童 10人

全校児童 47人





# 明和 小学校

新入児童 5人

全校児童 40人

# 只見 中学校

新入生 19人

全校生 77人



# 只見 高校

新入生 26人  
(うち山村留学生11名)

全校生 89人



# 雪像コンテスト入賞作品介绍



**最優秀賞**

「うさぎ」(蒲生区)

第50回只見ふるさとの雪まつりフォトコンテスト、ミニ雪像コンテストの入賞作品を紹介します。フォトコンテストは応募総数50点から9点、ミニ雪像コンテストは応募総数15点から8点が入賞しました。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

※お名前は敬称略でご紹介いたします。ご了承ください。



「アンパン号 出発〜!」  
(吉津明)



「トトロファミリー」  
(朝日保育所)

**優秀賞**  
(2点)



**入賞**  
(5点)



「うさぎと亀」今年は仲良く一緒に「ゴール」  
(船木純子)



「ただみの『雪うさぎ』」  
(只見郵便局)



「車庫の上の雪うさぎ」  
(横山と馬場)



「おかえり」  
(馬場昌子)



「元気なかまくらうさぎ!!!」  
(只見保育所)

# 第50回只見ふるさとの雪まつり

# フォトコンテスト入賞作品、三



只見  
町長賞

## 「只見線千輪号」

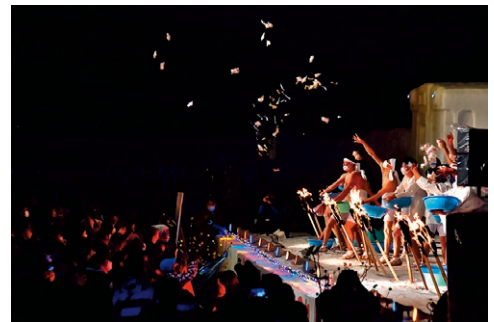
神尾彰(山形県)



審査員  
特別賞

## 「架け橋描け」

横山善幸(福島県)



優秀賞

## 「男衆のモチまき」

児山剛(福島県)



「待ちに待った！福餅」  
土屋英太(東京都)



「笑顔でカプツ」  
水谷和代(福島県)



「福餅を撒く男衆」  
大島市郎(福島県)



「プロジェクションマッピング」  
大塚芳彦(栃木県)



「雪山に映える」  
武田浩(宮城県)



優秀賞

「ひまわりの夜空に冠菊」  
井上真也(埼玉県)

只見町民の生活を守る  
「鳥獣被害対策実施隊及び  
有害狩猟鳥獣捕獲隊編成式」

「令和5年度只見町鳥獣被害対策実施隊及び只見町有害狩猟鳥獣捕獲隊編成式」が4月14日に行われ、隊員を代表し、深津和枝さん(大倉)に渡部町長から隊員辞令書と隊員登録証が手渡されました。

渡部町長は「日頃の皆様の活動のおかげで町の農業をはじめ、生活を守っていただいていることにお礼と感謝を申し上げます」とあいさつをしました。

今年度は44人が隊員として鳥獣被害対策にご協力くださいます。町民の皆さんには、活動へのご理解ご協力をお願いします。



▲渡部町長から辞令書、登録証を受取る深津さん

今年度の事業を報告

「令和5年度町政報告会」開催

「令和5年度町政報告会」が4月20日に朝日公民館でおこなわれました。

町政報告会では、担当課から各区長に、組織機構の変更や空き家の適正管理のお願い、朝日診療所の診療体制等、今年度事業の報告が行われました。

質疑応答では、今年度事業に対し、意見や質問が交わされました。これに対し、渡部町長は「貴重なご意見に感謝します。また、いただいたご指摘については改善していきたいと考えております。引き続き町政へのご理解をお願いします」と話しました。



▲引き続き町政執行にご理解、ご協力をお願いします

地域資源の活用を考える

「春木山体験」開催

只見町ブナセンターで共催の「春木山(雪上間伐運搬)体験」が3月19日に開催されました。春木山とは春先の堅く締まった堅雪の上で、ブナやナラを伐採しソリで搬出する伝統的な作業です。

今回は、伐採することで成長途中の木々の生育環境を良好にすることや、間伐材を持続可能な地域資源として薪などに活用することを目的に実施されました。

当日は快晴に恵まれ、町内外から約20人が参加し、堅雪の上の歩行と春木山を体験しました。



▲ソリで間伐材を運び出す参加者

意思決定の不安を取り除く

「成年後見制度  
利用促進室」設置

町は、保健福祉課に「成年後見制度利用促進室」を4月1日に設置しました。

成年後見制度とは、知的障害や精神障害の他、認知症などで判断能力が低下した人に対して、本人の契約や各種手続きを支援する制度で、本人の権利や財産を守ることを目的としています。

成年後見制度利用促進室は、判断能力に不安がある人に対して制度利用のための相談窓口となり、制度利用のための手続案内や制度普及などを行います。



▲保健福祉課（保健福祉センター）内に「成年後見制度利用促進室」の看板が設置されました

## 目黒麴店に県知事視察 「チャレンジふくしま訪問」

福島県内で活動している様々な団体の現場を知事が訪問し、県民の皆さんの声を直接聞く「チャレンジふくしま訪問」事業で、内堀知事が目黒麴店を3月24日に訪問しました。

目黒麴店代表で6代目の目黒繁夫さんと7代目の大地さんは内堀知事に、只見の水で仕込む味噌や麺づくり、地域の農産物を生かした6次化製品の開発や、インターネット販売に積極的に取り組んでいる状況等について説明しました。

説明をうけた内堀知事は「伝統を継承しながらも新たな製品や販路開拓に取り組んでいることは大変素晴らしいです。今後にも期待しています」と話しました。



▲最後に内堀知事と目黒麴店の皆さんで記念撮影をしました

## 全国高校生体験活動顕彰制度

### 堀金康太さん 文部科学大臣賞 受賞



▲受賞報告に訪れた堀金さん

全国高校生体験活動顕彰制度「地域探究プログラム」の全国ステージで、堀金康太さん（南会津高校）が、文部科学大臣賞を受賞しました。

「地域探究プログラム」とは、「体験活動」や「探究学習」とおして、「郷土親自然に愛着を持ち、新たな価値を創造する高校生」の育成を目指す学習プログラムです。

全国ステージでは、全国8地方にて各代表に選出された高校生が、体験活動報告を行いました。

堀金さんは『只見の町おこしとSDGsの推進のために田子倉湖の厄介者「ブラックバス」を町の特産品にするために』と題し、ブラックバスを利用した町おこしについて発表しました。

## 地域に根付いた自衛隊募集広報活動を行う 自衛官募集相談員委嘱式

只見町における自衛官募集相談員の委嘱式が、4月18日に行われ、中野大徳さん(叶津)に自衛隊福島地方協力本部会津若松出張所の鈴木所長と渡部町長から委嘱状が手渡されました。

自衛官募集相談員には、自衛隊志願者情報の提供や自衛隊福島地方協力本部の行う様々な募集広報活動などにご協力いただいています。

中野さんは平成29年4月に委嘱を受けてから、4期目になります。



▲委嘱状を受取った中野さん

## 只見町で新たな生活を始める「山村教育留学生対面式」開催

県立只見高校に山村教育留学制度で町外から入学した第22期山村教育留学生の対面式が、4月11日に行われました。

今期は沖縄県やふるさと交流都市の千葉県柏市、南会津町など全国各地から11人が山村教育留学生として入学しました。

対面式中の留学生自己紹介では「自分のやりたいことを見つけたい」、「只見の自然を満喫したい」と高校生活の意気込みを話しました。

山村教育留学生は、奥会津学習センター(寮)で集団生活を行いながら、只見町で高校生活3年間を過ごします。また、寮スタッフと一緒に地域行事に参加することもありますので、ご協力をお願いします。



▲第22期山村教育留学生の皆さん、ご入学おめでとうございます。只見町での生活を楽しんでください

## 地域の美化に努める

### 朝日地区「ちょボラごみ拾い」実施



▲地域美化のために「ちょボラごみ拾い」参加した皆さん

朝日地区「ちょボラごみ拾い」が4月22日に行われ、58人が参加し、朝日地区内の国県町道沿いに落ちていたごみを精力的に拾い歩きました。

集まったごみは、燃えるごみが26袋、燃えないごみが8袋になりました。

参加者は、「一見するとキレイに見えるところも、よく見るとごみが落ちていて、今日の活動の中できれいになったのは良かったです。皆さんとお話ししながら楽しく活動できました」と話しました。

## 応援ありがとうございました

### 只見高校甲子園出場記念プレートを柏市に伝達

只見高校野球部の第94回選抜高等学校野球大会出場（以下、センバツ）を記念したプレートが、渡部町長から太田柏市長に伝達されました。

只見高校のセンバツ出場が決定した際、柏市には、柏駅前大型モニターでの応援動画配信や、甲子園球場に横断幕を持って応援に駆けつけていただくなど、様々な場面で甲子園出場のご協力をいただきました。

今回の伝達は、それらの応援への感謝を込め、只見高校野球部甲子園出場後援会から柏市に贈呈されたものです。

また、太田柏市長と渡部町長は、それぞれの一大イベント（柏市：柏まつり、只見町：雪まつり）にお互いに参加したいことなどを話しました。



▲記念プレートを受取った太田和美柏市長



## 安全な除雪のために

### 「除雪機安全講習会」開催

新潟県燕市のフジイコーポレーション株式会社が主催する「除雪機安全講習会」が開かれました。

講習会では、除雪機に触れながら機能の確認の他、除雪の際の危険な行動などについて解説がありました。また、会場を訪れた人には、安全講習の資料などが配布されました。

フジイコーポレーションの小林さんは「エンジンをかけたまま離れない、除雪機の近くに人がいる時は使わないなど事故の原因を避け、正しい使用方法で1件でも事故が減らすことができれば幸いです」と話しました。



▲雪上で実際に除雪機に触れながら、安全機構などを確認しました

## 5月はふくしまさわやか行政相談キャンペーン期間です

5月1日から31日までの1か月間は「ふくしまさわやか行政相談キャンペーン」期間です。相談は無料で秘密は守られますのでお気軽にご相談ください。

令和5年4月1日付けで目黒真弓さん(小川)が、行政相談委員に委嘱されました。行政相談委員は、行政全般に関するご意見やご要望を受け、相談者と関係行政機関との間に立って解決を促進するように相談に応じています。



目黒 真弓さん  
小川字荒井原1024-1  
☎ 84-2708



にっくに ゆうせい  
新国 悠正くん(只見)



いがらし れい  
五十嵐 玲衣さん(福井)

虫歯の  
ない子

(4月25日)  
3歳児検診



## 広報ただみ診療所

オーストラリアの終末期医療

朝日診療所 所長 わかやま 若山 たかし 隆



先月4月半ば、オーストラリアの医学部6年生が、日本の医療を学ぶため、朝日診療所に2週間滞在していました。こちらが日本の医療について教えていると、医学生からオーストラリアの医療について教えてもらうこともできました。今回は日本とオーストラリアの終末期医療の違いについて、お話をさせていただきます。

人間みな歳をとると、だんだん歩けなくなったり、物忘れが進んだり、さらに進むと自分で食事を食べられなくなったりして、周りの人に介護してもらわないと生きられなくなる期間があります。日本では、物忘れが進んで寝たきりになっても、死ぬまでは病気になれば治療を行い、食べられなくなれば胃ろうや点滴などを考慮し、実際に全く食べられなくなった状態で数か月生きる例も多いです。しかしオーストラリアでは、物忘れがすすんで寝たきりになってしまうと、病気の治療をしなくなり、症状をとる緩和医療のみを行い、数日でお看取りになる場合がほとんどだそうです。なぜそのような対応が可能なのかというと、オーストラリアでは終末期の医療をどこまで受けたいか、本人がしっかり考えて記録に残してあるからです。65歳を過ぎたまだ元気な頃から、かかりつけ医から人生の最後の医療をどこまで受けたいかを考えるように勧められるそうです。日常生活が制限されることなく自由に生活できることを重視し、不自由な人生の最後を過ごすぐらいなら死んで天国に行くことを良しとするキリスト教的価値観も関係しているとか。そしてその意思を書面にして、自宅や全国共通の電子カルテシステムに残したりしておくそうです。実際に高齢者が救急搬送されたり、病院で治療を始める際には、まずその意思の記録を確認することが最初に行われるそうです。日本でも、終末期の医療をどうしたいかの希望をもっと話し合い、また本人の意思を保存・確認するシステムを整えていくことが大切だと思いました。

## 地域おこし協力隊として Vol.101

10年の歳月とこれから

只見ユネスコエコパーク推進協力隊 こんどう ゆうた 近藤 友太



私が只見の布沢集落を始めて訪れたのは2013年6月で、それから早10年が経とうとしています。10年間で私も含めて移住してきた人がいる一方、それ以上のペースで少子高齢化・人口減少が進んでいます。布沢の農地を見ても年々使われない田畑が増え、今年もさらに大幅に増えるようです。私自身が週末農業で管理する農地は最初1反ほどでしたが、周囲の遊休農地にも手を広げ今年は3町歩を超える予定です。人口減少の下、農業経営を取り巻く厳しい状況下、《これから将来、未利用（遊休）資源をいかに持続可能な形（経済的にも）で利用していくのか》が大きな問いになっています。

話は変わり、2014年に只見ユネスコエコパークが登録され、こちらも10年の節目が近づいています。登録以降、様々なユネスコエコパーク活動（『①自然環境、生物多様性の保護・保全』、『②学術調査研究、教育・研修、人材育成』、『③持続可能な環境・資源の利用と地域の社会経済の発展』）が推進され、知見の蓄積が進んでいます。『③地域の社会経済の発展』は他2つに比べ推進が遅れているものの、昨年度はブナ林に生育するオオバクロモジ（とりつき）やアブラチャン（じさがら）などの機能性（ポリフェノール含有量）に着目した商品開発ワークショップが開催され、未利用資源の持つ価値創出の取り組みが進められています。今後はさらなる知見の蓄積、そして蓄積された知見の活用による『①保護・保全』、『②学術調査研究』、『③地域の社会経済の発展』が三位一体となった推進をしていくことになります。

そして、ユネスコエコパーク活動で蓄積された知見は初段の《これから将来、未利用（遊休）資源をいかに持続可能な形（経済的にも）で利用していくのか》の問いに対する道標になり得ると思っています。ユネスコエコパークの活動の推進が各事業活動と連動することで只見全体の価値が高まる。そのような状況が身近に感じられるよう協力隊の残り任期の1年半、只見ユネスコエコパークの管理運営サイド・事業者サイド両面から取り組みを行って参ります。

発見!

# たからモノ ただみの文化遺産

第2回

ぼんじ  
梵字まんが

顔を描いた梵字の『諸尊種子』



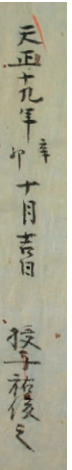
瀧泉寺蔵「諸尊種子」



不動明王



天正19年奥書 祐俊が伝授を受けた自署



只見町黒谷の瀧泉寺蔵「瀧泉寺聖教典籍文書」(町重要文化財)には、多数の室町時代・安土桃山時代の古典籍があります。その一つが、関東や会津で書物を書写して収集した学僧祐俊(1548~1606~?)が、天正19年(1591)に下野国足利で伝授されて描いた『諸尊種子』です。

ここには、五大明王(不動・降三世・軍荼利・大威徳・金剛夜叉の明王)が、梵字で描かれています。梵字とは、古代インドのサンスクリット語の文字で、母音と子音で構成される表音文字です。仏を一字で標示した梵字を種子といいます。塔婆に書かれた梵字は死者を供養する意味ですが、現在では梵字のパワフルな意味とデザインが注目され、お守りとしての梵字アートにもなっています。

『諸尊種子』は、仏を表す梵字に“顔”が描かれ、一画一画が延長されて装飾線となり、仏の姿にかたどられています。本来の種子は、仏を意味する表音文字であり、“仏の姿”を現しているわけではありま

せん。しかし、『諸尊種子』は文字が装飾されて“仏の姿”になっています。

五大明王は、忿怒の形相で悪魔を降伏しますが、こちらの五大明王はみなユーモラスです。右端の不動“カンマーン”(“ ”内は梵字の読み。以下同じ)は右手の剣と左手の綱を持っていますが、お土産を持って杖を振っているように見えます。次の降三世“ウン”・軍荼利“ウン”は背と足が描かれて動きがあり、ペアのダンシングに見えます。左端の金剛夜叉“キリーク”には両腕が見えます。素朴な愛らしい表現の民衆画で、いわば梵字まんがです。

この『諸尊種子』と同じ伝授系統で描かれた顔のある梵字絵が、東京駒場の日本民藝館蔵『種子絵巻』です。民藝運動を提唱した柳宗悦さんが収集したものです。民藝運動は、民衆の工芸に美的価値を見いだしました。柳さんは顔の梵字を見て、素朴な美しさにひかれました。柳さんが見いだした素朴美の梵字絵が、只見に存在します。

文・写真：久野俊彦



## ただみ・モノとくらしのミュージアム 展示情報



第1回テーマ展「ただみ・冬の暮らし」

会期：1月31日(火)~5月28日(日)

場所：ただみ・モノとくらしのミュージアム 展示ホール



# 町民文芸

## 只見短歌会 令和五年四月詠草

頂きし花は日毎に色増しぬ逝かれし歌友の面影浮かびぬ  
馬場 八智

友や姉逝きて忍びし生前の一挙一動昨日のごとく  
関谷登美子

花ばなの種類ちがひど萌へ出でし芽は皆同じことぶき色なり  
目黒 富子

君が言ふ「ちよつと聞いて」に身構へる昨日の「ちよつと」は一時間越へ  
立花 奏音

家飼ひの猫らは雪の冷たさを知らずに窓の外を眺むる  
新国由紀子

忘れむと漢字書きをれど気がつけばひらがな多き文字の並ぶも  
渡部ヨリ子

黒き薔薇咲きしと声をあげし孫鉢植を持ちきて臥す窓に置く  
故 新国 洋子（遺作）

（出詠順）



## 只見俳句会 四月定例会

日高俊平太 指導

一輪の若葉大きく絵手紙に  
黄砂ふる大古の村の物語  
恒 夫

朝焼けの雲を水面に二月果つ  
春めくやごぼんと樋を通る水  
礼

たんぼばの絮飛んで行け母の墓  
雪囲い取る八十五才腰に鉈  
一 穂

水温む雀もきたるお葬式  
春寒し茶飲み話に空き屋のこと  
修 一

春寒し色あせし本大江逝く  
春来るチア足高くスタジアム  
信

料峭やゆるりゆるりと巡り行く  
卒業す制服姿晴れやかに  
都

三月や鯉の尾びれのき揺ぎて  
辞書ごとに眼鏡をかえる日永かな  
味代子

眼鏡とり目をこする夫春隣  
シヨベルカー雪のあざらし五十匹  
真理子

青空の見えざるままに鳥帰る  
二月尽山鳥の声二度三度  
紺 青



# 今月のお知らせ

## 試験

令和6年度只見町職員  
(大学卒程度)(資格免許職)  
(短大卒程度・高専卒程度)  
採用候補者試験

### 一、試験職種及び採用予定人員

#### 【大学卒程度】

○一般事務 若干名

○土木 若干名

○建築 若干名

#### 【資格免許職】

○保健師 若干名

○看護師 若干名

【短大卒程度・高専卒程度】

○土木 若干名

○建築 若干名

### 二、受験資格(学歴不問)

#### 【大学卒程度】

○一般事務・土木・建築

昭和58年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた者

## 電話番号

総務企画課	財政係	☎82-5210
総務係	企画係	
町民生活課	町民税務係	☎82-5110
	生活安全係	☎82-5100
保健福祉課	保健係	☎84-7005
	福祉係	
成年後見制度利用促進室		☎84-7010
農林建設課		
農林係		☎82-5230
建設係		☎82-5270
交流推進課		
観光係	商工労働係	☎82-5240
移住交流係		
薪エネルギー推進室		☎82-5220
ユネスコエコパーク推進係		
(ただみ・ブナと川のミュージアム内)		☎82-5963
会計室		☎82-5120
議会事務局		☎82-5300
農業委員会		☎82-5230
教育委員会		☎82-5320
学校給食センター		☎84-7180
只見保育所		☎82-2219
朝日保育所		☎84-2038
明和保育所		☎86-2249
朝日診療所		☎84-2221
(歯科)		☎84-2612
こぶし苑		☎84-2101
只見公民館		☎82-2141
朝日公民館		☎84-2111
明和公民館		☎86-2111

土木・建築職においては、無資格もしくは未経験の方は、採用後、一般財団法人ふくしま市町村支援機構において、数年間専門的な技術の習得ができる者

#### 【資格免許職】

○保健師・看護師

昭和48年4月2日以降に生まれた者で、保健師(保健婦)・看護師(看護婦)の免許を有する者、又は令和6年3月末までに資格取得見込みの者

#### 【短大卒程度・高専卒程度】

○土木・建築

昭和58年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた者

無資格もしくは未経験の方は、採用後、一般財団法人ふくしま市町村支援機構において、数年間専門的な技術の習得ができる者

### 三、試験の方法

#### 【第一次試験】

教養試験及び事務適性検査・性格特性検査・職場適応性検査

※大学卒程度(一般事務・土木・建築)、資格免許職(保健師)は、この他に専門試験があります。

#### 【第二次試験】 (二次試験合格者)

小論文・面接による試験

### 四、第一次試験の日時、会場

#### ▽日時

令和5年7月9日(日)

午前9時受付～午後5時

※試験内容により終了時間は異なります。

#### ▽場所

福島市金谷川1番地 福島大学

### 五、発表

役場掲示板に合格者受験番号を掲示するほか、本人に通知します。

### 六、採用

合格者は採用候補者名簿に記載され成績順に町長が採用する者を選定します。(名簿の有効期間は一年間)

### 七、受験手続及び受付期間

申込用紙は総務企画課及び朝日・明和公民館で交付します。(郵送による場合は、総務企画課宛に120円切手を貼った自宛宛の返信封筒角二番を添付すること)

#### ▽受付期間

令和5年5月10日から6月9日まで(郵送による場合は、6月7日までの消印有効)

#### ●問合せ先

只見町役場総務企画課総務係  
☎0241-8215210

なお、令和5年度只見町任期付職員も受験受付中です。詳細については、町ホームページ(検索:只見町)をご覧ください。総務企画課までお問合せ下さい。

## 税 今月の納期

5月25日までに納めましょう

- 軽自動車税(全期)
- 農集排使用料(5月分)

### 5月31日は世界禁煙デー

5月31日は、「世界禁煙デー」です。日本では5月31日から6月6日までの「禁煙週間」として行います。喫煙は喫煙者本人にとどまらず、周囲への健康影響も大きいことから、健康増進法の改正により、たばこの煙と周囲への配慮は、マナーからルールへと変わっています。さらに県では、令和3年4月1日に「ふくしま受動喫煙防止条例」を施行し、受動喫煙防止を推進しています。

この機会に自身の健康や大切な家族、たばこを吸わない方のため、禁煙について考えてみましょう。

#### ●問合せ先

南会津保健福祉事務所  
☎0241-6310302



# 広報ただみ町長室

只見町長 渡部 勇夫

◆先日、只見中学校全校生徒にお話しする機会をいただきました。

わかりやすく言えば、次期の「第八次只見町振興計画」の策定にあたって自分達も提案するので、町政のことや町長の考えを聴きたいということでした。

現状を直視した大谷投手か佐々木投手ばりの直球の質問を次々と投げ込まれ、私もたじたじで真剣勝負で話してきました。

「只見町はダムを造って良かったと思いますか?」「只見町は将来合併すると思いますか?」という質問がまさにその例です。

自分たちが住む町を自分たちで懸命に学び、行動していこうという真剣な姿勢に何より心を打たれました。

「出来ない理由を並べるのではなく」、「どうやったらできるかを考え、行動する。」を学ばせていただいたのは私の方でした。中学生の皆さんありがとうございました。

◆農業者の皆さんと懇談する機会をいただきました。当然、農業の話がいっぱい出るのだろうと思いつながら参加させてもらいました。

ところが、私の予想は見事に裏切られ、小中学生や高校生、そして子どもたちの将来と只見町の関わり方など多岐にわたり懇談する場となりました。農業者の皆さんがこれほど教育に深い思いを抱いておられたということ改めて教えていただきました。もちろん「学力向上」は大切なことです。更にその上の将来設計に資する具体的な教育が強く求められていることを感じて帰ってきました。

## 町長スケジュール〈4月分〉



- |     |                                                        |     |                                                               |
|-----|--------------------------------------------------------|-----|---------------------------------------------------------------|
| 1日  | (株)季の郷湯ら里職員辞令交付式                                       | 18日 | 月刊クオリティ取材、自衛官募集相談員委嘱式                                         |
| 3日  | 町職員辞令交付式、定例庁議、町小中学校教職員着任あいさつ、南会津地方環境衛生組合辞令交付式(下郷町)     | 19日 | 納税貯蓄組合連合会総会、阿賀川河川事務所長あいさつ                                     |
| 4日  | 福島県土地改良事業団体連合会南会津支部来訪、南会津農林事務所長着任あいさつ、南会津建設事務所長他着任あいさつ | 20日 | 福島県生活環境部長あいさつ、臨時庁議(新型コロナウイルス対策本部会議)、町政報告会                     |
| 6日  | 電源流域振興協議会事務局長着任あいさつ、只見小学校入学式、只見中学校入学式、福島県デジタル変革課長あいさつ  | 21日 | 会津総合開発協議会南会津地方部会、会津総合開発協議会定例総会(会津若松市)、会津・野岩鉄道利用促進協議会総会(会津若松市) |
| 7日  | 柏市長面談(千葉県柏市)                                           | 23日 | 陸上自衛隊郡山駐屯地記念行事(郡山市)                                           |
| 10日 | 福島県水道協会理事会(福島市)                                        | 24日 | 会津産業ネットワークフォーラム総会(会津若松市)                                      |
| 11日 | 県立只見高等学校入学式、南会津病院院長あいさつ、只見町山村教育留学生対面式                  | 25日 | 只見線利活用推進協議会(会津若松市)                                            |
| 12日 | 電源開発(株)田子倉電力所訪問、只見町建設業協会あいさつ、臨時庁議(新型コロナウイルス対策本部会議)     | 26日 | 議会4月会議、只見学スタートアップセミナー(只見中学校全校生徒町長講話)                          |
| 13日 | 会津ただみ振興公社(株)取締役会                                       | 27日 | 只見特産(株)取締役会                                                   |
| 14日 | 只見町有害鳥獣捕獲隊編成式                                          | 28日 | 只見町鳥獣被害対策協議会、只見町赤十字奉仕団総会                                      |
| 15日 | みやぎ会津会総会(仙台市)                                          | 30日 | 南会津郡三町一村消防団春季連合検閲式(南会津町田島)                                    |
| 17日 | NPO法人あおいすず代表あいさつ                                       |     |                                                               |

# 町民の消息

(3月26日～4月25日届出分) 敬称略

## ■おくやみ申し上げます

山内 忠	76歳	梁 取
横山 幸子	100歳	榑 戸
山内 賢	91歳	小林
菅家 ミハル	94歳	長 浜
目黒 勝	89歳	長 浜
渡部 好	89歳	小林
五十嵐 カヅ子	91歳	只見
渡部 百合子	84歳	小 川



※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

令和5年4月1日現在

人 口	3,750 (-39)
男	1,863 (-18)
女	1,887 (-21)
世帯数	1,559 (-21)
高齢化率	49.2%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 17 転出 44 出生 1 死亡 13

▽ご入学された皆さん、おめでとうございます。友達や先生、家族と過ごす時間を大切に、学校生活を謳歌してください。  
▽今年は桜の開花が全国的に早く、慌てて桜を撮りに行きました。ここ数年は春があつという間に来て、気がつけば過ぎてしまっているような気がします。  
▽多くの方に支えられながら努めてきた広報担当も4年目になりました。引き続き、どうぞよろしくお願いたします。

(小林)

## あとがき

## 明和公民館 図書紹介

明和公民館図書室  
☎86-2111

# おすすめ新着図書

## ★ラブカは静かに弓を持つ



安壇美緒 (集英社)

少年時代、チェロ教室の帰りにある事件に遭遇。以来、深海の悪夢に苦しみながら生きてきた主人公は勤務先の全日本音楽著作権連盟の上司から呼び出され、音楽教室への潜入調査を命じられる。目的は著作権法の演奏権を侵害している証拠を掴むこと。身分を偽り、チェロ講師のもとに通い始めるが…少年時代のトラウマを抱える潜入調査員の孤独な闘いが今、始まる。『金木犀とメテオラ』で注目の新鋭が想像を超えた感動へと読者を誘う、心震える“スパイ×音楽”小説！

## ★きみのことがだいすき

いぬいさえこ (パイ インターナショナル)



ここは、小さなどうぶつたちが暮らす森。どんなこととお話しているのかのぞいてみたら……そこは、やさしさであふれていました。「かなしいきもちはね、ふたをしなくていいんだよ。」「あなたは、よいこ。なにかをじょうずにできなくても。みんなと同じようにできなくても。」つらいとき、心細いとき、いつもあなたの心にそっと寄りそってくれる。

心温まる絵と言葉がつまった親子で読んで欲しいたくさんさんの愛を伝えられるメッセージ絵本です。

☆明和公民館ではリクエストも随時受付していますので、ぜひご利用ください。

## 町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう



(写真・文 吉岡義雄)

## ケラ (学名: *Gryllotalpa orientalis*)

【バッタ目ケラ科】



▲ 新幹線のような流線形の顔



▲ 体の前半分は卵形で腹部は細い。中肢は短く、後肢は腹部に沿っている

一度見たら忘れられないユニークな姿をしたケラ。こう見えてバッタの仲間です。ケラは湿った土の中を好み、ミミズや小さな昆虫、植物の根などを食べ、生涯の大半を地中の巣穴で過ごします。巣穴は水田の畦や湿地付近に多く作られ、水田や湿地の多い只見には広く生息しています。

ケラの特異な形態は、土の中での活動に適しています。太く頑丈な前肢は、地中を掘り進むための掘削に使います。全身には微細な毛が生えており、泥が体につきにくい構造です。この毛は水もよく弾き、雨で巣穴が水没すると、ケラは水面に浮き、岸まで泳ぎつくことができます。水田や湿地の土中に棲むケラにとっては命綱と言える能力です。

また、硬い前翅はコオロギと同じく楽器となり、その下に折りたたまれた後翅で飛ぶことができます。これらは主に繁殖に役立つ能力です。巣穴に引きこもった生活をするケラが異性に出会うのは容易ではありません。そこで、オスの鳴き声を頼りにメスが飛翔することで、交尾に至ることができるのです。また、飛翔能力は生息地を広げる役にも立ちます。限られた水田や湿地などの環境を好み、地上での活動を苦手とするケラにとって、短時間で長距離を移動できる飛翔能力は、非常に重要な移動手段です。時に多芸多才の代名詞となるケラですが、その活動をよく見れば、湿った地中の環境に適した能力であるのがわかります。

### 只見町ブナセンターからのお知らせ

「ただみ・ブナと川のミュージアム」では下記企画展を開催中です。皆様のお越しをお待ちしております。

#### 企画展「雪国のブナを極める」

会期：2023年4月15日(土)～7月24日(月)

場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー